

2020年

第1回

I.B.S ニュース

アイオー・ビジネススクール【特別編】活動報告

発行:  アイオー信用金庫

セミナーの報告

アイオー・ビジネススクールは、2020年10月23日(金)、「アイオー・ビジネススクール【特別編】」として、アイオー信用金庫本店において第1回セミナーを開催しました。

当スクールは、本年9月終了した「第7期アイオー・ビジネススクール」に引き続き「第8期アイオー・ビジネススクール」として開講を予定しておりましたが、コロナ禍の状況下で定期的なセミナーを開催することは当面困難であると判断し、不定期であります。第7期までのスクール修了生を対象とし、【特別編】として開講しました。

今回の第1回セミナーは、「With/afterコロナを見据えた“ファミリービジネス”にみる中小企業の『継続力』」というテーマで、信金中央金庫 地域・中小企業研究所 主任研究員 鉢嶺実(はちみねみのる)氏を講師として下記の内容の講義を行っていただきました。

若手経営者の皆さまにとりましては、自社の事業の存続を考えるうえで大いに役立つ内容であったと思われます。

講義の前半は、「全国中小企業景気動向調査」にみる中小企業の景況感と、新型コロナウイルス感染症拡大の影響について解説が為されました。それによると、本年4~6月期の業況はリーマンショック以来の悪化を見ており、業況判断D.I.は全業種で△48.3、特にサービス業のうち旅館業は△89.1と非常に厳しい状況にありました。しかし、緊急事態宣言解除後の7月~9月は感染抑止と経済の両立により、やや持ち直している状況にあり、半値戻しといわれる状態に近づいています。

講義の後半は、中小企業の「継続力」について“ファミリービジネス”に着目し、多くの事例を挙げてわかりやすく解説していただきました。事業承継問題がクローズアップされている中、長寿企業と呼ばれる企業の多くが同族承継です。事業承継を行うにあたっての最大の問題は「事業に将来性があるか?」ということですが、“ファミリービジネス”は事業環境の変化にうまく対応し、長期的な目線に立ち「継続力」を発揮しています。



講義の様子

参加者の声(抜粋)

- ・家族経営に限らず、社員全員で会社を存続させていくシステムを構築していきたい。熟練工の技術の継承や情報共有など(建設業)。
- ・ファミリービジネスの強みを生かした経営を行い、地域に貢献出来る会社にしていきたいと思っております(サービス業)。
- ・後継者問題や事業承継が難しいと言われる時代に、ファミリービジネスの視点で次の展開を考えていくことが勉強になりました(サービス業)。

